

日本学術会議 電気電子工学委員会 制御・パワー工学分科会（第26期・第4回）

議事要旨

日 時： 令和7年7月28日（月） 17:00～19:00

場 所： 日本学術会議 Web会議

出席者： 青柳みどり，岩崎誠，岩船由美子，大崎博之（委員長），北裕幸（幹事），熊田亜紀子，佐藤育子，竹内敏恵，柘植隆宏，長谷川浩巳，藤崎泰正，藤本博志，村上俊之（副委員長），安田恵一郎（幹事），山中直明
(50音順，敬称略，欠席者は取消線)

議 事：

1) 前回議事要旨の確認（資料1）

北幹事から、前回分科会の議事要旨について説明があり、内容を確認した。

2) 話題提供1（資料2）

柘植委員から、資料2に基づき「エネルギーに対する消費者選好の分析－表明選好アプローチを中心に」に関する話題提供が行われた。アンケートで消費者の選好を調べる、表明選好アプローチについて、仮想評価法(CVM)、コンジョイント分析、ベスト・ワースト・スケーリング(BWS)などの具体的な手法とそのメリット、活用事例などを紹介いただいた後、意見交換が行われた。

3) 話題提供2（資料3）

村上副委員長から、資料3に基づき「社会における専門性の高い人材の育成～産官学連携のあり方～」に関する話題提供が行われた。理工系分野における研究・教育として、慶應義塾大学における分野融合研究・教育のための「場」を提供する様々な取り組みについて紹介いただいた。併せて、大崎委員長から、第三部会における理工系博士人材育成分科会等の検討内容等について説明があった。その後、意見交換が行われ、留学生の日本国内における採用のニーズ、電子情報通信学会における留学生向けのグローバルネットワークショップ等について、関係する委員から情報提供が行われた。

4) 公開シンポジウムについて（資料4）

大崎委員長から、資料4および2023年3月開催の公開シンポジウムの内容に基づき「公開シンポジウムの開催計画」案について提案がなされ、審議の結果、大枠については提案通り承認された。併せて、大崎委員長から、8月中に具体的なプログラム等を確定させる予定であり、今後、講演者、パネリスト等をお願いする場合があるので、その際には協力いただきたいとの依頼があった。

その他の主な意見は以下の通りである。

- ・聴講者を増やすために、シンポジウムの様子を現地で録画し、後日、日本学術会議のHP等からアーカイブ配信ができれば望ましい。
- ・電気学会東北支部長を通して、東北電力の技術者・研究者に対して参加への声掛けを行うことも有効な方策ではないか。

5) その他（資料5）

大崎委員長から、前回分科会から現時点まで、電気電子工学委員会およびその他の会議体

における開催状況について報告があった。

次回委員会：2025年10月～11月を予定。議事内容：シンポジウムの具体的な内容について検討
および委員からの話題提供に基づく意見交換、等。

以上

＜配布資料＞

資料0：議事次第（第26期・第4回）

資料1：日本学術会議 電気電子工学委員会 制御・パワー工学分科会（第26期・第3回）議事要旨

資料2：柘植委員からの話題提供資料

資料3：村上副委員長からの話題提供資料

資料4：公開シンポジウムの開催計画案について

資料5：関連する活動の報告